

第1・2学年複式学級 生活科授業構想シート

授業者 中西 大

本実践の主張点	共通テーマを含んだ単元構成を丁寧に行い、学び方を身につけさせておくことで、異学年で交流しながら主体的に学ぶ子どもを育むことができるだろう。
---------	---

1. 単元名 1年：みんなが喜ぶ「お手伝い」 2年：みんなが喜ぶ「野菜作り」

2. 1・2年F組の子ども

1年生は、学びの流れをほぼ身につけ、司会者を中心に進んで活動し、学習活動を進められるようになっている。気付きや考えを書いたり、話したりしながら友達の意見を受容的に捉えつつも、自分の意見をさらに重ねられる子どもが増えている。

2年生は、司会や記録の役割を果たしながら、より良い考えを見出そうと意見を交える姿が多く見られる。悩んでいる友達にアドバイスするなど、教え合う姿も見られ、互いの意見を吸収しながら課題解決しようとして進んで取り組む姿がよく見られる。

3. 何ができるようになるか

探究力	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や家族と関わりながら、生活をより良くしようと主体的に取り組む力 ・情報と気付きを合わせ、知識や経験を生かして考え、創り出す力
省察性	<ul style="list-style-type: none"> ・できたことを自覚し、できなかったことを減らそうと改善する力 ・自分の考えを認識し、新たな考えを見出して取り組む力

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

1年：みんなに喜んでもらえることを考えて実行し、自分の生活にさらに生かそうとする。
2年：目的をもって野菜を育て、収穫の喜びと命をいただく喜びを共有しようとする。

② 教材の価値

1年では、手伝いを家族目線や異学年目線で捉え、自分の役割として果たすだけでなく、家族や友達が喜ぶことをしようと考える。有用感・責任感・手伝いの意味などに思考を広げ、より良く活動しようと工夫することを学べる。そこには、自立に向けて活動する姿が見られるはずである。

2年では、野菜を育てて収穫するだけでなく、買い物や食事に目を向けることからその目的意識を高めることができるはずである。また、野菜が育つ様子に命を感じ、それをいただく喜び、調理する喜び、美味しさの喜びにつながるような気付きが深まる姿が見られると考える。

③学年間・教科間のつながり

異学年が学ぶ複式学級の特徴を生かし、家族や友達が喜ぶ場面を年齢の違う視点で捉え、伝え合えるようにしたい。また、「手伝い」と「野菜作り」という分野が違って、「喜ぶ」というつながりを生かしたい。さらに、勤労・相手の気持ち・喜びなど道徳科や学級活動に関わる観点、喜びの表情を捉える図画工作科との関わり、文章で気持ちを表現する国語科との関わりをもたせる。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる
 つなげる
 まとめる
 広げる
 予想する
 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p style="text-align: center;">単元計画（全8時間） 本時 4/8</p> <p>[1年] みんなが喜ぶことを見つけよう…2時間 みんなが喜ぶ手伝い考える…4時間 （家庭での手伝い実行） 家族や友達の反応とまとめ…2時間</p> <p>[2年] 秋の野菜を集めよう…2時間 みんなが喜ぶ秋野菜メニュー…4時間 （家庭での調理経験） 秋野菜メニューをいただく…2時間 （3～6Fとの合同調理実習）</p>	<p style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</p> <p style="text-align: center;">探究力を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異学年が違う視点で関われる課題設定に加え、目的を明確にして活動できる「秋野菜パーティー」を設定し、子どもたちに切実感を生むこととおして、主体的に学べるようにする。 ・ 「思考スキル」の活用をとおして、多くの考えを表出しながら学び合うように促す。 <p style="text-align: center;">省察性を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「できたこと・できなかったこと」「わかったこと・わからなかったこと」に視点を絞って振り返ることで、目的やめあてに合った学習活動ができてきているか、学び方を生かしたか省察する姿が見られるようにする。
---	---

6. 何が身についたか

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	1年：自分にできるみんなが喜ぶ手伝いに気付く。 2年：秋野菜を使ったメニュー、植物の命に気付く。	1年：目的や相手の思いに合った手伝いを考える。 2年：秋野菜を生かした相手に喜ばれるメニューを考える。	1年：みんなの役に立ち、喜びが溢れる生活をする。 2年：秋野菜を探し、調理して喜んでもらおうとする。

第1・2学年複式学級 生活科学習指導本時案

授業者 中西 大

日時：令和元年11月3日（日）第1校時（9:10～9:55）

対象：第1・2学年F組 1年生8人 2年生8人

場所：1・2年F組教室

本時の主張点	同じ目的を達成するため、異学年が意見を交流したり、学びを共有したりする場を設定することで、子どもたち主体の探究的な学びが実現するだろう。
--------	--

1. 本時について

1年生は、家族に喜んでもらったことを共有し、手伝いを見直したり、向上させたりする学習活動を行っている。それを生かして2年生の手伝いを考えることになる。昨年度、同様の経験がある2年生からアドバイスを受けることで、自分達の活動に生かそうとするはずである。教師は、喜んでもらえる理由を引き出し、具体的にどのような手伝いが適切か、秋野菜パーティーに参加するみんなが喜ぶことか考えさせるなど、経験した手伝いをパーティーにつなげて考えられるように支援したい。

2年生は、旬の秋野菜のおいしさや色味が喜びのもとになるのだと考えながら、メニューのアイデアを出して考え合うだろう。そこには、秋野菜パーティーを複式のみんなに喜んでもらいたいという相手意識が存在する。友だちのアイデアの良さを認め合い、考えたことを発表して友達や1年生に知らせる中で、よりよい考えに向かえるようにしたい。教師は、秋野菜を使った料理のおいしさや色味、秋を感じる楽しさなどの要素に気付かせ、食材を吟味するアイデアを出せるように支援したい。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

1・2年生ともに、単元の中盤となる。そのため、それまでの経験と学んできたことを表現しながら考えを更新したり、改善したりする場面となる。そこには、友達の考えに触れる中で生活をより良く、楽しく、喜びに溢れるものにしようとする活動が探究的な学びであるようにしたい。特に、複式学級の特長である異学年での学び合いを取り入れ、異学年が関わる中で高め合う学びとしたい。同時に、教師が関われない時間であっても自分たちで学びを進められるようにしたい。そして、これまでの自分たちの活動と本時の姿を振り返ることで、省察性を働かせ、活動をより良くしようとする姿を期待している。

3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

子どもたちが本時において活用・発揮するのは、経験を共有し、集めた情報を見直し、みんなの喜びにつなげる活動を探る瞬間である。1年生では、身近な人に喜んでもらった出来事や手伝いと関連付け、2年生の秋野菜パーティーでどんなことをすれば役に立ち、喜んでもらえるのか考えさせたい。2年生では、スーパーの見学や野菜の彩り、旬の野菜のおいしさや季節を感じる楽しさ、栄養教諭のアドバイス等の学びを総合的に生かし、メニューに用いる食材に対する考えをもてるようにしたい。

4. 本時の目標

- 1年：みんなが喜ぶ手伝いを考える。
- 2年：みんなが喜ぶ秋野菜メニューの食材を選ぶ。

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>[1年]</p> <p>1. 秋野菜パーティーの手伝いを考える。</p> <p>○お皿を運んだり、箸を並べたり、テーブルを拭いたりしたいよね。</p> <p>○お家では、深めの取皿を用意しています。みんなが取りやすいように考えないとね！</p> <p>2. 2年生のアドバイスを聞き、考えたことを発表し合う。</p> <p>○お家では、掃除や片付けをしたら喜んでくれました。だから、パーティーの片付けは絶対いいと思うよ。</p> <p>○お皿洗いもできるかな？</p> <p>3. 活動を振り返る。</p> <p>○たくさんアイデアを出せました。</p>	<p>●家庭での手伝いの様子を、写真等で示す。</p> <p>●秋野菜パーティーに必要な具体物を揃えておき、食事の準備を再現しながら考えられるようにする。</p> <p>●秋野菜パーティーに必要な手伝いにつながるよう、2年生がしてほしいことを1年生にアドバイスできるように促す。</p> <p>○秋野菜パーティーに役立ち、みんなに喜んでもらえそうな手伝いを考えている。</p>
<p>[2年]</p> <p>1. 入っていると嬉しい野菜の聞き取り調査を行う。</p> <p>○食材が、3種類だけだとさみしいね。1年生は何を食べたいのかな？</p> <p>2. 使う食材を考えて発表し合う。</p> <p>○つくねが好きだけど、それだと全体が茶色になるね…。みんなが好きな野菜を調べたから、役立てたいな。</p> <p>○ホウレンソウやニンジンはどう？色が綺麗だし、スーパーに旬って書いてあったよ。</p> <p>2. 活動を振り返る。</p> <p>○複式みんなに喜んでもらえると思います。</p>	<p>●1年生に入っていると嬉しい食材を聞き、相手の好みを含んで考えるように促す。</p> <p>●「スーパーには、こんな野菜がたくさんあったよね。“旬の野菜”って何かな？」写真等を示して秋野菜を再認識させる。</p> <p>●旬の野菜のおいしさ、色味、自分たちで調達することなども合わせて考えられるよう、栄養教諭からのアドバイスを示す。</p> <p>○みんなに喜んでもらえるメニューの具材を、秋野菜を中心に考えている。</p>